

部品点数も多めですが順序良く作れば大丈夫です。疲れたら休みながらゆっくり作ってください。
半田コテでやけどしないように気を付けて作ってください。
部品の足を切るときはピンが飛ぶとあぶないので飛ばないように指を添えるといいです。

1. 用意する工具

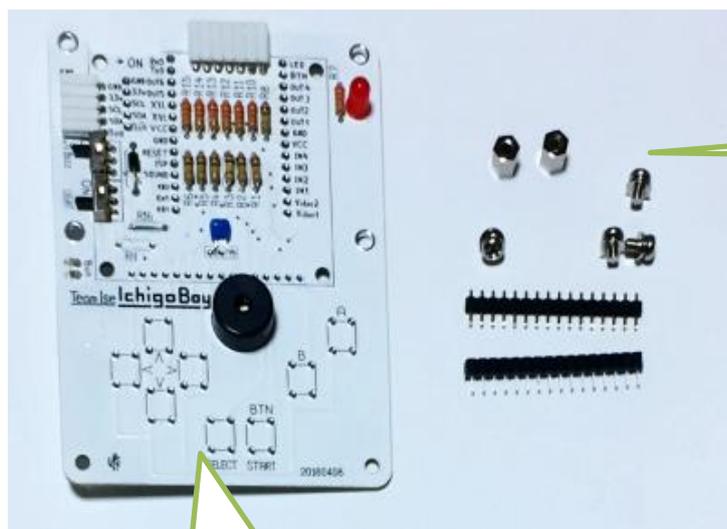
電子工作用の半田コテ、コテ台、コテの掃除用スポンジかスチールたわし

電子工作用のニッパー、プラスのドライバー

糸半田

2. 部品の確認

はいつているもの



途中までできた基板



パーツ

LCD

電池ホルダ

途中まで組立してある基板にスイッチとピンヘッドを半田付けすると完成です。

3. タクトスイッチとピンヘッダ

タクトスイッチ

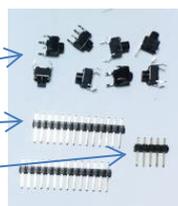
ピンヘッダ 14ピン

ピンヘッダ 5ピン

8個

2個

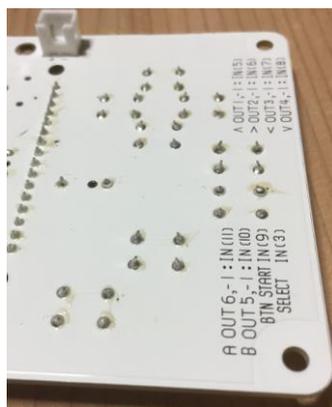
1個



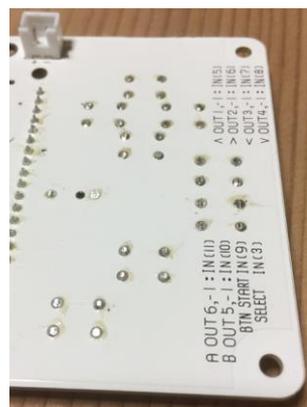
タクトスイッチ8個を半田付けします。スイッチの黒い本体が基板に隙間なく密着するように差し込んで半田付けしてください。

タクトスイッチの裏側には電池ホルダーがきます。両面テープで固定しますが、スイッチのピンが邪魔になりますので、半田付けの終わったピンの先をニッパーで短く切ってください。

半田付け後



切った後



最後にピンヘッダを半田付けします。

ピンは裏側について IchigoJam のソケットにささります。斜めに半田付けすると IchigoJam に刺さらなくなります。

そこで、ピンヘッダを IchigoJam のソケットにさしてから IchigoBoy の基板をのせて半田付けするとまっすぐに半田付け出来ます。

さて、ピンが半田付け出来たら、LCD を差し込んでねじ止めしてください。



最後に電池ホルダーを両面テープで貼りつけてケーブルをコネクタに差し込んでください。

IchigoJam に5V電源とキーボードをつないで次のコマンドをいれてみてください。LCDに表示ができればOKです。

SWITCH 1

キーボードが3V対応であれば乾電池でも動かすことができます。

ダイオードが入っていますので、電池をいれたまま5Vをつなぐことができます。長期間使わない時は電池を抜いておいてください。LCDの保護フィルムもはがして結構です。



コネクタ
差し込み